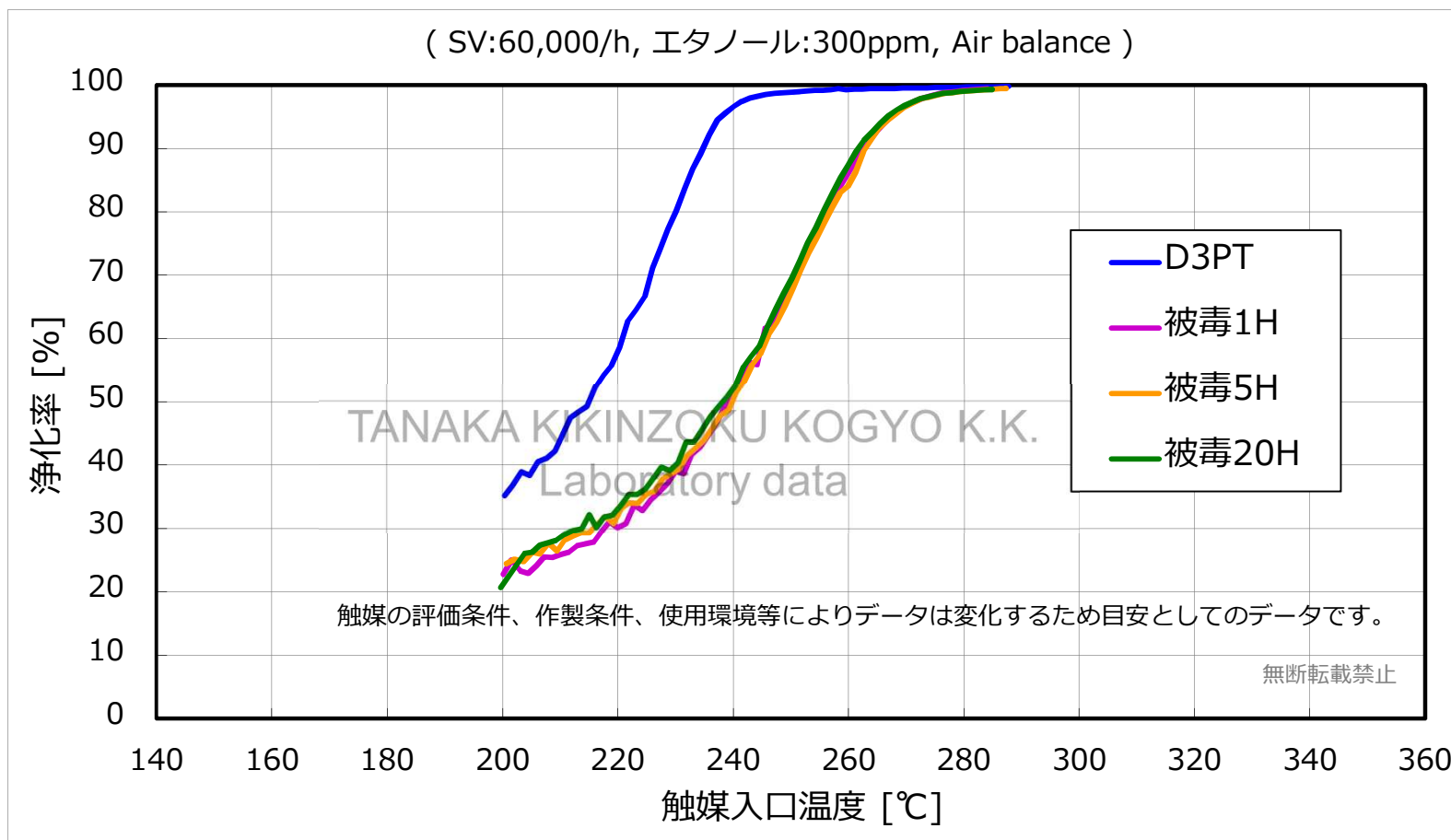


臭素化合物による被毒特性の一例



臭化合物による被毒条件

臭化エチル ($\text{C}_2\text{H}_5\text{Br}$) :5ppm, エタノール:300ppm, SV:60,000/h, 温度:400℃

ハロゲンによる被毒の一例、臭化エチルによる被毒。初期に一定レベルまで浄化温度が上昇しますが、低濃度であればその後はその状態で安定します。そのため高温での触媒の適用が検討可能です。